



第28回 夏季 狂言の会



野村 万作



野村 萬齋



野村 裕基

ふくおか「萬齋の会」

公演日時 2025年 7月19日(土)
午後1時開場 午後2時開演
7月20日(日)
午後1時開場 午後2時開演

公演場所 大濠公園能楽堂

入場料 椅子席:8,800円(税込)
栈敷席:6,600円(税込)

主催 ふくおか「萬齋の会」

協賛 久原本家 茅乃舎、舶来品のレイメイ
積水ハウス(株)福岡支店、志賀設計、日本航空
西日本鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社
ホテルニューオータニ博多

熊本「万作・萬齋の会」

公演日時 2025年 7月21日(月・祝)
午後1時開場 午後2時開演

公演場所 熊本県立劇場

入場料 S席:8,800円(税込) A席:6,600円(税込)
B席:5,500円(税込) 自由席:3,300円(税込)

主催 熊本「万作・萬齋の会」

共催 (公財)熊本県立劇場

特別協力 熊本日日新聞社
(財)熊本公徳会、熊本県文化協会

協賛 積水ハウス(株)熊本支店、平田機工株式会社
LONG AGE 税理士法人、肥後銀行、日本航空
九州旅客鉄道株式会社 熊本支社
熊本ホテルキャッスル

大分「万作・萬齋の会」

公演日時 2025年 9月13日(土)
午後1時開場 午後2時開演

公演場所 平和市民公園能楽堂

入場料 椅子席:8,800円(税込)
栈敷席:6,600円(税込)

主催 大分「万作・萬齋の会」

協賛 フンドーキン醤油(株)
積水ハウス(株)大分支店
龜の井別荘
日本航空
九州旅客鉄道株式会社 大分支社
レンブラントホテル大分

チケット販売所

福岡 チケットぴあ
(<https://t.pia.jp> (Pコード533-342))

熊本

チケットぴあ
(<https://t.pia.jp> (Pコード533-343))
熊本県立劇場／熊日プレイガイド
◎連絡先／松下:090-2088-6222

大分

チケットぴあ
(<https://t.pia.jp> (Pコード533-344))
平和市民公園能楽堂
大分トキハプレイガイド
◎連絡先／降旗:090-2583-3940

問合せ チケット販売

ノマ企画・092-781-1267
TEL:092-781-1267
<http://www.nomakikaku.com>
Produced by Noma Kikaku



第28回 夏季 狂言の会

ふくおか「萬斎の会」

7月19日(土) 午後1時開場
7月20日(日) 午後2時開演(両日)

■場所 大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5 TEL:092-715-2155

狂言ファイル「文」 野村萬斎 内藤連
(ふみにない)

狂言「文荷」 野村万作 深田博治 野村萬斎



太郎冠者と次郎冠者は、主人から恋文を届けるよう命じられる。文を持ちたくない二人は、道々文を押し付け合うが、やむなく竹竿に結んで二人で担ぐことにする。なぜか文が重く感じられるので、能「恋重荷」の一節を思い出し、謡いながら運んでいく。手紙の中身が気になって仕方がない二人は、とうとう文を開いて読んでしまうのだが…。

能「恋重荷」のパロディになっている作品です。登場人物のやり取りの面白さに加え、謡曲を取り込んだ興趣あふれる内容になっています。

(はやまい)

素囃子「早舞」 相原一彦 幸正佳
白坂信行 吉谷潔

(やお)

狂言「八尾」 野村萬斎 野村裕基



近頃人間がみな極楽に行くので大飢饉になっている地獄に、自ら罪人を責め落とそうと、地獄の閻魔が六道の辻で待ち構えている。そこへ冥土に旅立った河内国の八尾の里の罪人が通りかかると、早速閻魔が地獄へ責め落とそうとすると、罪人は、閻魔と衆道(男色)の関係にある八尾の地蔵からの手紙を差し出す。それは、この罪人を極楽に送って欲しいとの依頼状だった。さて閻魔は…。

狂言の中で唯一「読み物」と呼ばれるジャンルの作品です。地獄へ追い立てる(責め)を囃子で表現するなど、能がかりの演出も見どころです。

熊本「万作・萬斎の会」

7月21日(月・祝) 午後1時開場
午後2時開演

■場所 熊本県立劇場

熊本市中央区大江2-7-1 TEL:096-363-2233

狂言のおはなし 野村萬斎

(あくたろう)

狂言「悪太郎」 野村万作 石田幸雄 深田博治

乱暴者の悪太郎は、酒を飲むことを非難する伯父を脅してやろうと長刀を携えて出かけていくが、そこでもさんざん酒を飲み、帰る途中で寝込んでしまう。後をつけてきた伯父は、道端に寝ている悪太郎を見つけて長刀と衣類を取り上げ、僧の衣装を着せ「南無阿弥陀仏」と命名して去る。さて、目を覚ました悪太郎は…。

リズムカルな踊念仏の掛け合いなど、豪快かつおかしみのある名曲です。狂言らしい笑いに溢れる前半と共に、悟りに至る後半もまた見どころです。



(ろくじそう)

狂言「六地蔵」

野村萬斎 野村裕基
高野和憲 内藤連 中村修一

ある田舎者が地蔵堂に六体の地蔵を安置しようと都に仏師を探しに行く。すると徒者(いたずらもの)のすっぱ(詐欺師)が声をかけてきて、自分こそが真の仏師であると偽り、翌日までに六地蔵をつくる約束をして田舎者と別れる。すっぱは仲間を呼び出し、地蔵に化けて田舎者をだますことにする。さて翌日、田舎者が地蔵を受け取りにやってくる、地蔵は三体しか見あたらない。もう三体はどこに問うと…。

演者が所狭しと舞台を駆け回る賑やかな作品です。本舞台と橋掛りを上手く使った、狂言ならではの表現もお楽しみ下さい。



大分「万作・萬斎の会」

9月13日(土) 午後1時開場
午後2時開演

■場所 平和市民公園能楽堂

大分市牧緑町1-30 TEL:097-551-5511

狂言のおはなし 内藤連

(ふせないきょう)

狂言「無布施経」 野村萬斎 深田博治



毎月きまつてある檀家へ祈禱にやってくる僧。無事に勤めをすませ施主に別れを告げるが、今日に限っていつももらうはずのお布施が出てこない。毎月こうなつては大変、と、僧は再三戻つては雑談や説法にこと寄せてそれとなく催促するのだが、施主は一向に気づく様子がない。僧は最後に苦肉の策を思いつき…。

人間なら誰でも持つ心のゆれが、シテの独演によってユーモラスに、一抹の哀愁をもって描かれるところに、現代性が感じられます。施主とのやり取りに思わず微笑が浮かぶ佳作です。

(まごむこ)

狂言「孫聲」 野村万作 石田幸雄
内藤連 野村裕基



今日はめでたい聲入り(結婚後初めて聲が妻の実家へ挨拶に行くこと)の日。舅と太郎冠者は、日頃何かと口うるさい祖父を外出させ、そのすきに祝儀を済ませてしまおうと策を練る。それを聞いた祖父は怒り出し、結局同席することになる。いよいよ聲が入ると、大張り切りの祖父は聲そっちのけで盃事に口を出し…。

祖父まで登場する珍しい聲入り狂言です。華やかでめでたい雰囲気の中で、デフォルメされた老人の振舞いが効果的に描かれます。

総合お申込みお問い合わせ

ノマ企画 内

ふくおか「萬斎の会」

熊本・大分「万作・萬斎の会」事務局

〒810-0062

福岡市中央区荒戸2丁目5-9-701

TEL 092-781-1267

FAX 092-781-1268

✉ info@nomakikaku.com

受付/10:00~18:00 土・日・祝 休

● 公演に関するお問い合わせは左記事務局までお願いします。

● 一般チケットの発売は5月11日(日)からとなっております。

● お客様のお申込みは、小学校高学年以上とさせていただきます。

● チケットの払い戻しはおことわり致します。

※ 演目・配役は止むを得ず変更する場合もございますが、その場合は、ご了承下さいますようお願い致します。